

事業所名

恵那市こども発達センター・にじの家

支援プログラム

作成日：令和6年7月1日

法人（事業所）理念		共に生きる豊かな地域社会の実現		
支援方針		地域及び家庭との結びつきを重視し、必要な関係機関とも綿密な連携を図り、総合的なサービスの提供に努めるものとする。		
営業時間		月～金曜日 及び 月1回土曜日 午前8時30分～午後5時15分	送迎実施の有無	あり ※原則として、保護者の送迎による親子通所
支 援 内 容				
本人支援	健康・生活	○健康状態の維持と改善、基本的な生活スキルの獲得、生活リズムや生活習慣の形成の支援方法を考えます。 児童発達支援 食事や排せつなど生活の中で必要な力を育てるための援助を行います。 放課後等デイサービス 安定した睡眠をとり日中の活動が充実するような工夫をします。また、環境設定について考え、生活しやすい工夫をします。		
	運動・感覚	○姿勢と運動・動作の向上や補助的な手段の活用など、主体的な生活に向けての力を育てます。 児童発達支援 バランス感覚、距離感、力の強弱などいろいろな感覚の成長を促します。 放課後等デイサービス 感覚の特性に応じて環境を調整したり、代行手段について考えます。 体の感覚を育て、動きや気持ちをコントロールする力を育てます。		
	認知・行動	○認知の発達と行動の習得、空間、時間、数など概念形成の習得、必要な情報を収集し適切に認識する力を育てます。 児童発達支援 得意なことに着目しスモールステップで『できた』を積み重ねながら、頑張る力が付くよう支援します。 放課後等デイサービス 個々に合わせてどのような方法や環境であれば円滑に活動に取り組めるか模索して満足感に繋がります。		
	言語 コミュニケーション	○言語の形成と活用、コミュニケーションの基礎的能力の向上を促します。 児童発達支援 他者との関わりを心地よいものと感じ、伝えたい気持ちを育てます。言葉だけでなくジェスチャーなど個々に合った方法を考えます。 放課後等デイサービス 具体的なものと経験と言葉の意味と結び付けて、言葉の習得を促します。 自分の考えを伝えるばかりでなく、相手の話を聞き意図を理解するなど、より関わりを深められるよう支援します。		
	人間関係 社会性	○他者との関わり合いの形成、自己の理解と行動の調整、仲間づくりと集団への参加を推進します。 児童発達支援 他者との信頼関係を基盤として、周囲の人と安定した関係を形成するための支援を行います。 放課後等デイサービス 順番交代や役割分担、話し合いのスキルなど社会に適応する力を養います。また自分を知り、自分と上手に付き合う方法について一緒に考えます。		
家族支援		個々の発達状況や特性の理解に向けた相談援助や、家族の子育てに関する困り事についての相談援助やペアレントトレーニングの実施に努めます。 保護者同士の交流の場の提供や、就学・就園支援などの情報提供に努めます。	移行支援	保護者の意向により、就園や就学など移行先の関係機関への情報提供(サポートブックの活用)により、移行のための支援を行います。 適宜移行先の関係機関と連携を図り、適切な支援に努めます。
地域支援・地域連携		保健センター、こども園等、小学校及び教育・発達支援センターあおばなど、関係機関との連携を図ることにより個々の発達状況の理解を深め適切な支援に繋がります。 必要なサービスのための情報提供など、適宜必要に応じ対応していきます。	職員の質の向上	職員の資質向上のために年間の研修計画を策定し、専門的な研修の受講や内部研修の実施、療育支援方法の検討会など定期的に行います。 作業療法士や言語聴覚士による専門的支援の観点から療育への助言を受け、適切な支援のあり方について検討を深めていきます。
主な行事等		子育て相談 2回/年 蜂谷医院 蜂谷明子先生 歯科・口腔・摂食指導 2会/年 朝日大学歯科歯科医療センター 安田順一医師		